

令和7年度 放課後等デイサービス「陽だまり」の職員アンケート結果

回答者 8名 数値は%表示

アンケート項目	はい	どちらとも 考えない	いいえ	グラフ			アンケート結果を踏まえた改善点
				そう思う	どちらとも 考えない	思わない	
【環境・体制整備】							
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	87.5	0.0	12.5				○支援室の使い方を工夫する。倉庫の整理、新設をして場所を確保する。 ○一部、バリアフリー化がされておらず、工夫が必要である。
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0	0.0	0.0				
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87.5	0.0	12.5				
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0	0.0	0.0				
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	87.5	0.0	12.5				
工夫・改善点							○倉庫や収納の部屋が狭い。 ○デイの人数が増えてスペースが狭いので工夫が必要 ○職員人数に余裕があると良い
【業務改善】							
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	87.5	0.0	12.5				○月に一度のペースでPDCAサイクルの確認、カンファレンスができるよう調整する。 ○第三者評価について見直す。
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0				
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0				
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25.0	0.0	75.0				
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0	0.0	0.0				
工夫・改善点2							○第三者評価なし、研修は動画視聴で徹底できている ○定期的カンファレンスの時間を取れたら嬉しい ○職員間での情報共有の場を朝の30分間で実施している。この時間にテーマを計画的に組み入れる
【適切な支援の提供】							
適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0	0.0	0.0				○活動プログラムは目により交代で考案しているが、チームで内容の相談もできると良い。 ○支援の振り返りの時間を設ける。
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0	0.0	0.0				
個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0	0.0	0.0				
個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0	0.0	0.0				
こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0	0.0	0.0				
個別支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0	0.0	0.0				
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.5	0.0	12.5				
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0	0.0	0.0				
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0	0.0	0.0				
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0				
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62.5	0.0	37.5				
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0				
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0	0.0	0.0				
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0				
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0				
工夫・改善点3							○デイのアセスメントツール不足、終了後の振り返り困難 ○時間の隙間で活動後の打ち合わせがあるとよりよい支援ができるのではないかと ○職員間での情報共有を徹底していく ○振り返りの場を計画的に設定する。
【利用者・関係機関との連携】							
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0	0.0	0.0				○利用者の通園や学校とは、送迎時に連携がとれるが、医療の場は保護者からの聞き取りがメインとなりましたため、
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	87.5	0	12.5				

【関係機関や保護者との連携】	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	0		検討が必要。 ○地域の支援センターとの連携は現状難しい。 ○就学時以降については、該当者は1人のみ、児童との情報共有は1度実施。 ○学校卒業し次の事業所への移行が今後あれば積極的に情報提供等を行って連携を深めたい。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	0		
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12.5	0.0	87.5		
	保育所や認定こども園、幼稚園等また放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100.0	0.0	0.0		
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0	0.0	0.0		
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0	0		
	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100	0	0		
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	87.5	0	12.5		
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25	0	75		
	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	0		
工夫・改善点4	○地域連携はまだ不足している ○学校卒業後の自立支援についての経緯等知りたい。 ○現在活動可能な範囲で継続して取組む。 ○事業者間の研修等の実施。					
【保護者への説明等】	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	0		○地域との交流や連携は具体的な実施に至っていない。現状としては困難である。今後の課題とした。
	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	0		
	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100	0	0		
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	0		
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100	0	0		
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	0		
	定期的に通信等や発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0	0		
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	0		
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	0		
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25	0	75		
工夫・改善点5	○地域招待なし ○まずはこども園との連携を日常的に深める。					
【非常時への対応】	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	0		○安全確保の実践、安全対策マニュアルを再度周知する。
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	0		
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0	0		
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0	0		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	0		
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	87.5	0	12.5		
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	0		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	0		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100	0	0		

工夫・改善点6	○周知不足の可能性あり ○年間計画に明確に実施日時、内容等組み入れる。	
【自由記述】「陽だまり」の運営全般に関して、ご意見があればお書き下さい。	○陽だまり職員一丸となって更なる子ども支援をしていきたい！ ○毎日楽しく働いています。 ○おもちゃ保管場所をもう少し広げて頂きたいです。 ○職員間での信頼関係を大切にしながら、協力体制を維持したい。	